

お寺のハンドブック

結ぶ絆から広がるご縁へ

知ってほしい3つのコト

- お寺ってどんな所？
- どのように運営しているの？
- 2つのお願いごと



お寺ってどんな所？

お寺は仏教を伝える場所

仏教は、2500年前のインドにいたお釈迦（ゴータマ・シッタッタ）を開祖とする宗教で、キリスト教・イスラム教に次いで世界三大宗教の一つです。その教えは、多岐にわたりますが根本的には以下の2つ

1. 思い通りにならないことから離れることを目指す。（悟り）
2. 世の中は様々な原因と結果を生じている。（縁起）

上記のような教えを伝えるにあたり、本堂の奥にいる仏様（仏）、教えである経典（法）、それらを伝える実践者（僧）からなる三宝（さんぼう）を中心に組織されています。

お寺と聞いてまずイメージするのは、お葬式や法事などの仏事か京都などにある観光寺院ではないでしょうか？

実際に、お寺に参拝された檀信徒以外の20名を対象に行ったアンケート調査で、お寺のイメージは、お葬式が最も多く34.4%、次いで法事が31.4%でした。

つまり、お寺は檀信徒（信者）のみに儀礼儀式をする閉鎖的な場所であることがわかりました。

確かに、お寺は地域住民へ仏教を伝え広める限定的な信仰の場ともいえますが、それ以外にも、寺子屋としての学びの場や身近な悩みを相談できる場など様々な役割を担っていたことが歴史的にみて証明できます。

つまり、かつてお寺は老若男女を問わず誰もが自由に行き来できる共有地（コモンズ）であったと考えています。そこで、お寺本来の役割であった地域住民のコモンズを再興することを目的として開かれたお寺作りを始めています。





どのように運営しているの？

お布施(ふせ)

お布施といえば、お賽銭やお葬式・法事の時に僧侶へのお礼として渡すお金のことを指す言葉として理解されていますが、本来は金銭以外のモノも該当します。

その意味は、見返りを求めず神仏や僧侶に対して相応の施しをすることです。相応の施しとは、わかりやすくいえば**自分にとって価値のあるモノを渡す**ということです。

仏教にとってお布施をすることは**善いこと**とされ、過去の罪(業)を清め、来世により良い世界へと生まれ変わる**輪廻転生**(りんねてんしょう)というインド古来の考え方に基づいています。また、過去世や来世のことのみならず、**今を生きる私が、物の執着をなくしていく**という1つの修行法でもあります。

日本の場合、お寺や神社へ布施(寄付)をすることで、神仏に自分自身の生前の罪を軽くしてもらう(委託)という文化もあります。

集まったお布施は、お寺や地域の為の活動に還元されます。このように仏教やお寺は**お布施(寄付)文化によって成立している**のです。

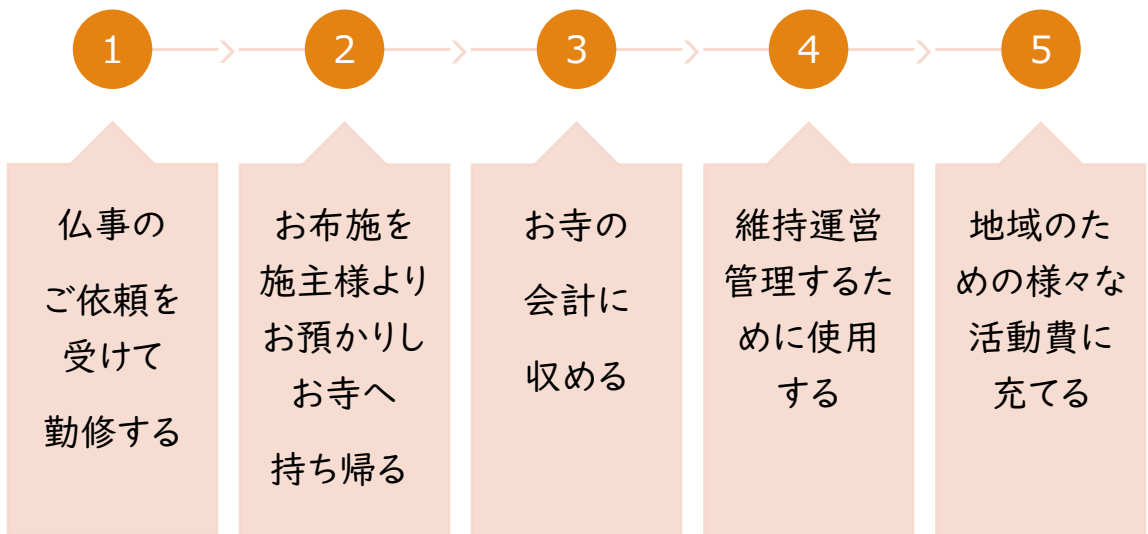
※お布施の別名

冥加金(みょうがきん)・懇志(こんし)

・神仏の加護を得るために、また、神仏の加護に対する謝礼の意として、寺社に奉納する金銭。冥加銀。冥加銭。



お布施の流れ





2つのお願いごと

1. SNS等で活動をアップしてください

SNSは皆さまの活動においても必要不可欠なものになっていると思います。しかし、その普及率と投稿の多さから活動周知の為の投稿を一生懸命しても相手に届くのが容易ではなくなりました。

とはいえ、当寺としましてもGoogle、Facebook、インスタ、ツイッターなどのSNSメディアを通じて**地域の皆さまへ開かれたお寺**を発信したいので、お互いの活動周知の為にもよろしく願いいたします。

(当寺アカウントをタグ付け、もしくは#幸教寺としていただけましたら、投稿を見つけやすく且つ皆さまの投稿をシェア、リツイートしやすいです)

2. お布施(寄付)をお願いいたします。

お布施の項目でも紹介しましたが、お布施の原則(相応の施し)から当寺は**使用料を頂きません**。すべてご利用の皆さまの善意にお任せしております。

今後、ご利用の皆さまの意見も取り入れつつ、より良い場所作りを目指して日々アップデートしていきますのでご理解ご協力の程よろしく願いいたします。

※お布施を強要することはありません。また、金額の規定もございません。判断が難しい場合は住職までご相談ください。

